

時事新報には倫敦特電あり世界の大事を速報す

定期預

六ヶ月以上
年七分三厘



通知預

年七分三厘
六ヶ月以上
百圓三付一日

日本橋區檜物町

(電話本局二三八)

行政改革

有仕合
頃諸方
摸遣品
付弊舗
のうら
商標登
候間何
商標御
上候也

定期預金
當座預金
特別當座

合名
東京市日本橋區通壹丁目
電話本局六百七十三番
日歩一錢七厘
以上年七分五厘

一定期預金
六ヶ月定期預金
(金高五)

會社三井

會社
利記
金行

以上	國	上	日	步	壹	錢	五	分
國	上	日	步	壹	錢	五	厘	毫
上	日	步	壹	錢	五	厘	五	厘
日	步	壹	錢	五	厘	五	厘	五
步	壹	錢	五	厘	五	厘	五	厘
壹	錢	五	厘	五	厘	五	厘	五
錢	五	厘	五	厘	五	厘	五	厘
五	厘	五	厘	五	厘	五	厘	五
厘	五	厘	五	厘	五	厘	五	厘
毫	五	厘	五	厘	五	厘	五	厘

所と心得るぞと叱りたる此所は鐵道の事務所に乖すやと答へしに此鐵道は官の鐵道なるを知らざるかと云ひしよと斯の如き根性を以て鐵道兩社とは唯驚く可きのみ其得意の客たる人民に於て不平不諒快なからんと欲するも得べからず鐵道既に斯の如くなれば郡區役所、警察署等に官員の紛々たるは固より其所にしが宜しからずとか下らぬ小言を並べて二度も三度も突進し或は時を限て慄々呼び出す可きほどの事もなきに明日何時に出頭す可しと嚴命して人民の迷惑を顧みざるが如き珍らしからぬふなり曾て成人轉居して届書を差出しし其後程経て何か區役所の證明を要するもわたり其旨頗り出でたるに住所番地が違ふとて頗る書を却下したり轉居の届は體に差出したるのみとなれば住所に相違のある可き筈なけれども詮ふも詮なければ更らに轉居届を差出して済く用事を済ましたるに其後區役所より明日何時當役所に出頭す可しとの呼出狀來りしかば何事ならんと定めの時刻に出頭すれば先日となり一枚の紙屑を渡すが爲めに慄々人を呼

て苟も社會を益したる者には官民の差別なく之を授與して然る可きものなるは實際に則ち然らず功勞表彰の具は却て官民區別の隔壁であり苟も官衙に衣食する役人どもれは尊く自力自活する人民なれば卑し凡俗社財に於て自ら不快の情なしを得ず凡そ此弊習は官衙の全面に普及して殆んど禁禦あるふとなし例へば鐵道の如き名は官衙にもせよ實は純然たる官員にして人を乗せ荷物を運びて貨物を收めるものなれば其營業も一印商賈にして苟も根性を廢せむ客に接するや横柄にして物を取扱ふにも極切の心なしらず一紳士が汽車に乘る様子なるにぞコツヽヽと出札所の邊を明治求めんとしたるに掛員は向の方に何か爲し居る様子なるにぞコツヽヽと出札所の邊を明治

人員を半減し若しくは三分の一に節約するも眞面目に勵さへすれば事務に差支なしと云はざるはなし是れも畢竟官尊民卑、人民は汗を流して働くも官吏は自から特別の待遇にして左様驩談勉強するの要なしと思ふが故のみ新政府果して行政を改革せんと欲するか繁文縝體固より除かざる可らず局課の廢合亦或は必要ならんと雖も官尊民卑の弊風を一掃するは第一の急務なり假令規則は今日のまゝにても官署の氣風さへ根本より改まりて萬事活潑簡易を旨とするに至れば自から規則を活用するの道もある可く人民の不便不愉快は大に減ると共に冗官費費を省くも容易なる可し人を節して事務を敏活にするは行政の要なり此點より見るも人を更ふるは目下の急務にして勘じて行はざる可らず官廳の廢合は規則を以て定む可し規則は筆以て書くふと容易なりと雖も全體の氣風を一變するには新人物を入れざるを得ず多年の風習は一朝にして脱す可らず如何に内閣が嚴命と下する也實に此まにして面目一新の難きは猶ほ難堪をして禁酒せしむるの難さが如し政府内部にも飲酒を好まざるものもある可し此聲は更らに採用するも不可なしとして兎も角も此頃大臣を除くと専ら新の實業家が之を主導して行ひ貿易なり一新の實業家が之を主導して行ひ貿易なり

て出来る用事に一日を費すは自然の勢なり例へば民間の銀行會社にては年中れつ通しに終日執務するに反して何の謂れにや役所にては半ドンと稱して毎土曜日には半日しか勤かず署中に至れば毎日半ドンにして年末年始等にも体休多し以て其執務の悠々閑々たるを察するに足る可し全體の氣風斯の如くなるが上に上流の役人輩は取締流と氣取て何事も自から辨せず大臣が六官に命すれば次官は局長に委し局長が課長に云ひ付ければ課長は屬官に託すると云ふ始末にて實際仕事するものは只下級の輩のみ即ち屬僚政治の稱ある所以にして中には大に働く者もあれども概して上官は殆んと盲判を押すの器械と云ふも可なり是に於てか官吏は役所に充満すればも事務は進捗せず一日にて済む可い仕事に五日も十日も